

三ツ星 株主の皆様へ

定時株主総会 買収防衛策についてのご説明資料

**三ツ星を守るために、買収防衛策の発動に対するご理解・ご賛同と
定時株主総会での第5号議案に対する「賛成」の議決権行使を
お願いします**



株式会社三ツ星

2022年6月

本資料の要旨

概要

なぜ買収防衛策の発動
が必要なのか

- アダージキャピタル有限責任事業組合（以下アダージ）は株主提案を通じた乗っ取り行為を行おうとしており、複数の関係者も買付に参加しております
- これに対して当社は4月8日に対応方針を開示し、大量買付行為に関する手続きを求めたにも関わらず、アダージらは遵守する意向を全く見せておりません
- **アダージらが当社の経営を掌握することにより企業価値及び株主共同の利益が毀損がされる懸念が極めて強いことから、当社取締役会は独立委員会の勧告を得た上で、買収防衛策の発動を決議いたしました**

買収防衛策の概要

- 買収防衛策とは、不適切な者による乗っ取り行為により、当社の企業価値が毀損されることを防ぐための対応のために導入するものです
- 買収防衛策が発動された場合はアダージらによる買収行為に対抗することができます。
- **一般株主の皆様が直接的な不利益をこうむることはありませんので、ご安心ください**

議決権行使のお願い

- 買収防衛策を発動させるためには、6月24日の株主総会で第5号議案が可決される必要がございます。**当社を守るためには、株主の皆様のご協力が不可欠でございます。**
- 委任状の**第1号議案から第5号議案までを【賛】、第6、7号議案に【否】の○印を記入し**、必要事項を記載の上、議決権行使書もしくは本人確認書類のコピーを同封して付属の返信用封筒をご投函下さい

なぜ買収防衛策の発動が必要なのか

6月24日開催の定時株主総会で、アダージは経営権奪取を目的とした株主提案を実施

当社は、2022年6月24日(金)に定時株主総会を開催いたします。本定時株主総会においては、当社の株主である「**アダージキャピタル有限責任事業組合**」より

- 第6号議案：取締役（監査等委員である取締役を除く。）2名選任の件（アダージキャピタル有限責任事業組合側）
 - 第7号議案：監査等委員である取締役2名選任の件（アダージキャピタル有限責任事業組合側）
- の2件の議案が上程されました

しかし、本株主提案は**明確な経営戦略を示しておらず、また当社との十分な対話も行われなままなされた極めて一方的な主張であると考えております**。これらの提案が承認可決された場合には当社経営に深刻な支障をきたすことになり、株主の皆様及びその他ステークホルダーの皆様の利益が著しく毀損するおそれがございます

つまり、アダージらは当社に対して乗っ取り行為を行おうとしております

当社取締役会は、本株主提案における
第6号議案及び第7号議案について反対しております

当社株式の買付には複数関係者が関与

アダージらは大量保有報告書開示義務を長期にわたり違反し続け、実態を隠したまま当社株式の買付を行ってきました

関係者

アダージ キャピタル	当社に対し定時株主総会においても株主提案を実施 組合員に株式会社シンシア工務店 大量保有報告書の開示義務を長期にわたり遵守せず
株式会社 和円商事	アダージキャピタル元組合員
本多敏行氏	和円商事代表取締役 大量保有報告書の開示義務を長期にわたり遵守せず
その他	合同会社サクセスインベストメント、CMC JAPAN株式会社 株式会社ルーツビジネスサポート、有限会社杉山製作所 株式会社LULインターナショナル、アジアインベストメントファンド株式会社 成田帝氏

概要

- アダージは、自身のほか、複数の関係者が買付に関与
- 3月31日時点において、アダージらは少なくとも議決権割合で21.63%以上の株式を保有**
- アダージらは関係性を否認していますが、
 - 他社でも同一メンバーで株式売買を実施
 - 同じ時期に買付を行っていること
 - 5月臨時総会では全員が株主提案に賛成
- などを鑑みると、**関係性を持った上で当社株式を買い増したことは明らかです**

※これら組織・個人らの関係状況詳細は当社が3月29日に開示した「アダージキャピタル有限責任事業組合及び株式会社シンシア工務店への質問事項の送付に関するお知らせ」、6月14日に開示した「（開示事項の経過）当社株式の大規模買付行為等への対応方針に基づく新株予約権の無償割当てにおける「非適格者」の認定に関するお知らせ」を参照

和円商事らは他企業でも経営権奪取を実施

どちらの事例でも和円商事出身者らが経営に参画していますが、抜本的な改革はなされず業績や株価は低迷

プラコーの事例

- 2020年11月、フクジュ及びその関係者らの請求で開かれた臨時株主総会で、**一方的かつ強圧的に経営陣を刷新**（取締役4名の解任と新任取締役5名の選任）
- 2021年6月に**和円商事代表取締役の本多敏行氏がプラコーの取締役に就任**
- 2022年3月期の期初通期予想では売上高33億円、営業利益3億円の増収増益を計画していたのに対し、実績は**売上高が27億円、営業利益が1.9億円**と、大幅未達に終わりました
- 5月26日時点での株価は348円（分割調整後）と、**経営陣の刷新がなされた2020年11月6日終値498円から30.1%下落**

北日本紡績の事例

- 2020年5月、個人株主らの請求で開かれた臨時株主総会で、**一方的かつ強圧的に経営陣を刷新**（取締役3名の解任と新任取締役5名の選任）
- 経営陣の刷新により、**和円商事の元取締役である粕谷俊昭氏が代表取締役に就任**
- 2020年12月に**本多敏行氏**が過去に代表取締役に就任しており、**HDD SINGAPORE.PTE.LTD.**が株主であった**株式会社中部薬品工業を買収し、2021年3月期中に減損損失を計上**
- 2022年3月期は営業利益は1.4億円の赤字と赤字幅が拡大
- 5月26日時点での株価は127円（分割調整後）と、**経営陣の刷新がなされた2020年5月1日終値269円から52.8%下落**

※これら組織・個人らの関係状況詳細は当社が3月29日に開示した「アダージキャピタル有限責任事業組合及び株式会社シンシア工務店への質問事項の送付に関するお知らせ」を参照

■ アダージは対して極めて不誠実な対応に終始

前項までの疑義について当社より提案株主に質問状を送付したものの不誠実な回答に終始

- 当社の質問に対して、極めて限定かつ不誠実・不合理な回答しかされておられません
- 質問への回答では、**アダージは具体的な経営計画を有していないことも明らかになっております**
- 加えて、当社は4月8日に対応方針を開示し、大量買付行為に関する手続きを求めたにも関わらず、**アダージらは遵守する意向を全く見せておりません**

詳細につきましては、2022年5月9日付「当社よりアダージキャピタルらに3月25日付で送付した質問状および4月8日付で送付した文書に対する回答受領に関するお知らせ」及びインターネット上の当社ウェブサイトに掲載させていた一覧リストをご参照ください

三ツ星と株主の皆さまを守るために 当社取締役会は買収防衛策発動を決議

- ・ アダージらは具体的な経営計画を持たないどころか、**当社へ一切のコンタクトもない状態で役員刷新の株主提案を図り、当社の乗っ取りを企てております**
- ・ アダージらは大量保有報告書の開示義務を長期にわたり違反し続け、**実態を隠しながら複数の関係者とともに当社株式を買い増してきました**
- ・ もしもアダージらが当社の経営を掌握した場合、**企業価値及び株主共同の利益が毀損されることは明らかです**
- ・ これらの状況を踏まえ、独立性の高い社外者で構成される独立委員会は、5月18日に「買収防衛策発動に向けた手続きを進めることは適当である」との勧告を行いました

当社取締役会は当社と株主の皆さまを守るため、
買収防衛策発動を全会一致で決議いたしました

買収防衛策の概要

買収防衛策の要点

一般株主の皆様

- 新株予約権をすべての株主様に無償割当て（**一般株主の皆様**に持ち分の希薄化は生じません）

- 当社が一般の株主様の新株予約権を**当社の普通株式を対価として取得**

アダージキャピタルら（非適格者）

- 非適格者については、当社が新株予約権を「B株予約権」を対価として取得
- 「B株予約権」は**一定条件※をすべて満たす場合にのみ行使可能**
=満たさない場合は行使不可能

ポイント

- 不適切な者による**乗っ取り行為により、当社の企業価値が毀損されることを防ぐために導入するもの**でございます
- 買収防衛策が発動された場合でも、**一般株主の皆様が直接的な不利益をこうむることはありません**
- 一方、アダージキャピタルら非適格者は条件を満たさない限り行使不可能な新株予約権を取得することになるため、**合理的と認められる範囲の手続に反した買収行為に対抗することができます**
- 買収防衛策に関しては、今回の定時株主総会の議題である第5号議案「新株予約権の無償割当ての件」で、**発動の判断については株主の皆様のご意見を反映させていただきます**

※条件の詳細は当社が4月8日に開示した「アダージキャピタル有限責任事業組合及びその他関係者による当社株式を対象とする買集め行為を踏まえた当社株式の大規模買付行為等への対応方針について」を参照

買収防衛策発動の流れ

2022年6月24日 定時株主総会での過半数の賛同により承認

2022年7月28日 A新株予約権の無償割当てに係る基準日

2022年7月29日 A新株予約権の効力発生日

2022年10月18日 A新株予約権の行使期間の初日

2022年11月30日 A新株予約権の行使期間の末尾

Q&A

・ 株主総会で何を決めるのですか？

当社は、アダージキャピタルらの株式買集め等による経営権奪取により、当社の企業価値や株主共同の利益が毀損されるおそれがあると考えていることから、「対抗措置」（新株予約権無償割当て）の発動に関する議案をご承認いただき、アダージキャピタルらの保有比率を減少させたいと考えております。

・ 「対抗措置」（新株予約権無償割当て）が発動されるとはどのようなことですか？

株主の皆様には、新株予約権の割当基準日に、無償で自動的に新株予約権が割当てられます。当社は、この新株予約権を株主の皆様から取得しますが、その際に対価として当社の普通株式を交付いたします。他方で、アダージキャピタルらの非適格者（当社の取締役会や独立委員会がアダージキャピタルらに関係すると認める者）に該当する株主は、新株予約権を行使することができず、当社から株式も交付されません。非適格者の株主は、大規模買付行為等の中止又は撤回をし、その他一定の条件を満たすことで普通株式に転換し権利行使ができる別の新株予約権が交付されます。

・ 新株予約権と引換えに株式が交付されるということは、株式の価値が希薄化されるのでしょうか？

その心配はございません。一般株主の皆様全てに、新株予約権が自動的に割り当てられ、その後、当社が普通株式を対価に新株予約権を取得しますので、株主の皆様の持ち分が希薄化することはありません。

議決権行使のお願い

買収防衛策の発動には株主の皆様の賛同が必要です

- 6月24日の定時株主総会では、第5号議案「新株予約権の無償割当ての件」を付議しております
- **買収防衛策を実際に発動させ、アダージらの手から当社を守るためには、5号議案を賛成多数でご承認いただくことが大前提となります**
- 委任状の**第1号議案から第5号議案までを【賛】、第6、7号議案に【否】の○印を記入**し、必要事項を記載の上、議決権行使書もしくは本人確認書類のコピーを同封して付属の返信用封筒をご投函下さい

当社を守るためには株主の皆様のご協力が不可欠です
第5号議案に【賛】の議決権行使をお願いいたします

多くの株主様からのご支援が必要です
株主の皆様のご利益と当社の未来を守るため、委任状のご返送を心よりお願い申し上げます

本店所在地	〒541-0053 大阪府中央区本町一丁目4番8号 エスリードビル本町5階
創業	1919年8月8日
設立	1947年3月24日
資本金	11億3,651万8,090円
所在地	支店 : 東京支店・名古屋支店・大阪支店・九州支店 工場 : 滋賀工場・羽曳野工場
子会社	シルバー鋼機株式会社 MITSUBOSHI PHILIPPINES CORPORATION MITSUBOSHI REALTY CORPORATION

参考資料

現経営体制における基本戦略

2016年4月より「高付加価値製品への集中」「4S運動の推進」を基本戦略に、次項以下の各種施策を実施

基本戦略

高付加価値 製品の強化

当社の強みである「高強度製品」や「耐水製品」といった
高付加価値製品への選択と集中による経営基盤の強化

4S運動の推進

- ① 「新分野開拓」：環境・社会の変化に即応
- ② 「新製品創出」：新しいニーズに呼応した技術開発
- ③ 「新顧客増強」：常に顧客を拡充しネットワーク拡大
- ④ 「新グローバル戦略推進」：新たな海外市場の開拓

2015年4月以降、各種施策を積極的に実行(1/2)

概要

成果

海外マーケット 拡大

- 2016年3月期に経営企画部海外事業課（現国際事業部）を設立
- アジア圏各国語を母国語とするスタッフを揃えるなど、陣容を拡大

- 国際部門の2022年3月期の売上高は、**2016年3月期の約20百万円から約20倍と飛躍的に成長**

新製品開発

- 2020年2月に滋賀に技術開発センターを新設
- 産学連携として大阪大学はじめ研究機関の共同研究を積極化

- 新製品開発数は**2019年3月期の2件から着実に増加し2022年3月期には9件に**。収益拡大の大きな礎となっている

電熱線事業への 投資

- 2019年3月期から2020年3月期に410百万円の新工場建設投資を実施
- 産業機器分野、自動車分野、抵抗器分野における新規顧客開拓を推進

- 電熱線事業は3期連続赤字（2014年3月期から2016年3月期）から**黒字へと転換。2022年3月期も増収増益**

基幹システムへの 投資

- 2019年3月期から基幹システムを刷新

- 本社・支店・工場の情報データを一元化することで、生産・販売・会計の業務連携による収益機会の拡大とコストダウンを実現

2015年4月以降、各種施策を積極的に実行(2/2)

概要

成果

従業員 エンゲージメント

- 2021年10月に「社員総代会」を組成
- 毎月第1営業日に社長方針や社内広報のための社内IRを実施

- **新卒採用者（大卒）直近3年以内の離職率0%を実現**、従業員全体の定着率も向上

営業活動の強化

- 2019年8月に開催した創業100周年を記念した展示会を皮切りに2019年10月から延べ120回の製品説明会を実施

- 製品説明会に累計650名を超えるお客様が参加

情報発信の強化

- 2020年6月にホームページを刷新
- 2021年12月に海洋土木分野における展示会「Techno-Ocean2021」へ出展するなど、情報発信を強化

- 2022年2月に開催した当社単独のWEB展示会で延べ700名を超えるお客様に来訪いただくなど、顧客認知が大きく向上

事業活動を通じた 社会課題の解決

- ESG（環境・社会・ガバナンス）を経営の中核に据え、環境・エネルギー問題や防災対策への取り組みを強化

- 洋上風力発電事業における海底ケーブル埋設機の電源ケーブルや、火山噴火の軽石問題・海洋汚染問題に対処する浄化機械の動力ケーブルなど、**社会課題の解決に資する製品を開発・提供**

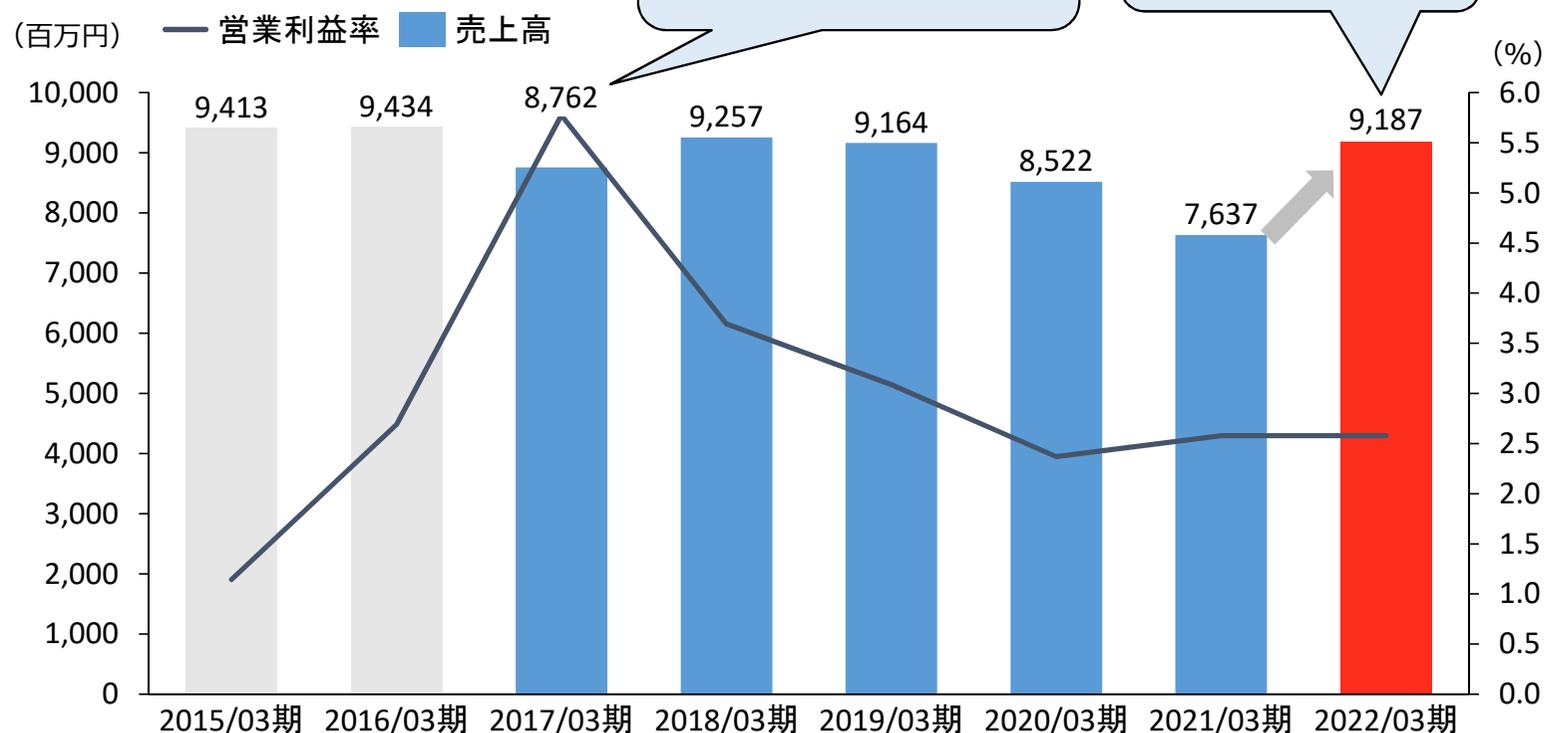
(参考)過去の施策と成果

	中期5ヶ年計画					中期3ヶ年計画(～78期)		成果
	71期	72期	73期	74期	75期	76期	77期	
	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	
海外マーケット 拡大	海外事業課新設 ※外国語を母国語とするスタッフの陣容拡大 国際事業部新設							【国際部門売上高】 2016年3月期と比べ、 2022年3月期は 約20倍
新製品開発	技術部新設 技術開発センター新設 アクアラボ新設 大阪大学 金沢工業大学 北陸先端科学技術大学院大学 ※大学との共同研究を積極化							【新商品開発数】 2019年3月期 2件 2022年3月期 9件
電熱線事業 への投資	▼新工場建設投資(410百万円)開始 ※産業機械、自動車、抵抗器分野の新規開拓推進							3期連続赤字(2014年3月期 ～2016年3月期)から 黒字へと転換
基幹システム への投資	▼基幹システム刷新							全社 のシステムを 刷新
従業員エンゲージメント	人事制度改革 社内IR開始 社員総代会結成							新卒採用者(大卒)の 直近3年以内の離職率 0%を実現
営業活動 の強化	▲新たな販売ルート開拓 創業100周年展示会 商品説明会スタート							累計 650名超 のお客様が参加
情報発信 の強化	▼マスコミを活用した宣伝▼ホームページ刷新 Web展示会							Web展示会 延べ700名超 のお客様来場

転換期を乗り越え、持続可能な成長トレンドに転換

競が代表取締役役に就任して以降の諸施策が結実し、2022年3月以降は増収増益を見込む

当社の業績推移



競良一が代表取締役役に就任 (2016年4月)

改革の成果が発現

2022年3月期以降について

- 転換の過渡期に当たる直近3期においては、汎用品販売の減少と先行投資に伴う費用増が同時に起こる「産みの苦しみ」が続いた
- しかし、**事業基盤**が整った、**2022年3月期からは持続可能な成長トレンドに**

現任の取締役は当社経営に不可欠

3役員は下記の通り当社の事業に精通しており、過去の実績を踏まえても**当社の中長期的な成長に不可欠**

各役員の見解・実績

競良一

- 代表取締役に就任して以来、一連の改革を先頭に立って実施
- 電線事業の新分野開拓、新製品創出、新顧客増強、新グローバル戦略推進を掲げた収益の向上、ポリマテック事業の低収益体質の改善、そして電熱線事業の3期連続赤字（2014年3月期から2016年3月期）の解消等を実現

松山元

- 当社において総務部門の部門長を長く務めるなど、豊富な経験と幅広い知見があり、また、社内事情に精通し、高い調整能力を有する
- 人事労務制度の改正への取り組みや、間接経費の幅広い見直しを通じた大幅なコスト削減に貢献してきたほか、安定的な従業員の雇用維持のために、長期的かつ持続可能な人事制度構築による処遇改善や職場環境改善などを実現

前田康智

- 当社のフィリピン工場の運営に、同工場立ち上げから従事しており、これまでの経験を生かして海外事業を推進
- 海外市場の開拓と国際部門の売上高の大幅な向上、フィリピン工場でのゴム電線生産設備の導入及び生産立ち上げ等に貢献

経営陣が交代した場合の企業価値毀損は明白

株主らによる提案は下記の通り、多くの問題や不透明性を抱えている

株主提案の問題点

- そもそも本株主提案は、**当社の中長期的な企業価値向上に向けた具体的な事業計画を何ら示しておらず、どのような経営方針をもって当社の経営にあたっていくのかといった、具体的な経営戦略が不明**
- 本株主提案の取締役候補者は、それぞれの役割や担当も明らかでなく、どのような体制で経営にあたっていくのかが不透明
- 当社は、「経営参画」の具体的内容、及び、請求人の考える当社の①経営方針、②事業計画・投資計画（M&Aを含む）、③財務計画、④資本政策、⑤配当政策等について**質問状を送付し回答を求めたが、一切回答なし**

経営陣が交代した場合、いたずらに社内の混乱を招き、当社の事業を停滞させ、同計画が頓挫することは確実であり、当社の企業価値が毀損されることは明らかです

株主らの意見は当社の経営実態に即していない

株主らによる指摘における誤りの多くは、当社の経営実態を把握していない故のものである

株主らの意見（概要）

業績状況

当社の経営成績は、未だ新型コロナウイルス感染拡大前の状態にさえ、回復する見通しが持てていない状況にある

当社の見解

- 2022年3月期の業績は営業利益額、営業利益率ともに**競良一氏が取締役に就任した時点、新型コロナウイルス感染拡大の直前、いずれと比較しても同等以上まで回復**
- **来期以降は事業基盤強化施策の効果がさらに本格的に発現していく見込み**

保有資産

1,424百万円もの現預金を有しながら新規事業に投資していない

- 2017年3月期から2022年3月期にかけて合計で約18億円の設備投資を実施
- **保有する現預金は当社の事業運営及び新規投資を鑑みて適正な水準**
- 今後も資本効率を意識しながら成長投資と株主還元を行うことで、**株主価値の最大化を実現**していく方針

「個人投資家の皆様へ」ページのご案内

この度、ホームページに「個人投資家の皆様へ」のページを追加しました
当社についての情報を動画などで分かりやすく紹介しています



1 経営陣からのご説明

現在の経営陣が取り組んできた実績についてご説明いたします。



2 Mitsuboshiってどんな会社？

当社の特徴を数字で分かりやすくご紹介します。



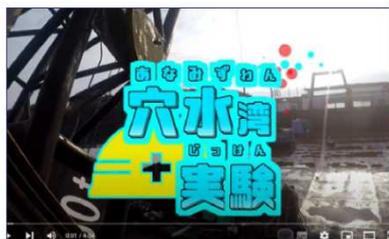
3 動画で見る三ツ星！

当社の事業やキャプタイヤケーブルについて動画でご紹介します。



4 Mitsuboshiの新たな挑戦！！

当社が行ってきた設備投資や技術開発についてご紹介します。



5 真冬の石川県能登での実証実験

石川県で行った当社新製品の検証実験についてご紹介します。



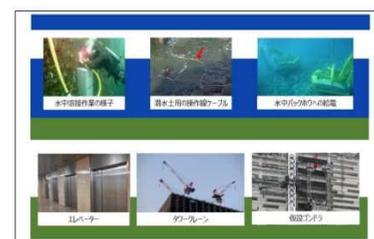
6 大学との共同研究

当社がこれまで行ってきた産学連携についてご紹介します。



7 ESGにおける取組

当社の「環境・社会・ガバナンス」における取組についてご紹介します。



8 災害復旧・防災への取組

当社の社会課題における取り組みについてご紹介します。



9 財務ハイライト

当社の財務情報を閲覧出来ます。